

最近朝鮮の人民生活の向上において 成しとげられている主要な成果

朝鮮社会科学院人権問題研究所研究員
金忠誠

朝鮮において、人民生活の向上は党と政府の最大の重大事、最高の闘争目標になっている。

敬愛する最高指導者金正恩同志は次のように述べた。

「わが党は人民生活の問題を第一重大事として掲げ、人民の物質文化生活を向上させるための闘争に大きな力を入れました」（『朝鮮労働党第7回大会で行った中央委員会事業総括報告』23頁）。

現時期、朝鮮に対する米国と西側の政治軍事的圧迫と経済封鎖は極限点に達している。すべての手段と方法を総動員し、朝鮮に「最大の圧迫」を加えることによって朝鮮を完全に窒息させて、社会主義の最後の堡壘を崩してみようとするのがトランプ行政政府の目的である。

しかし、史上最大の軍事的威嚇と前例のない制裁と圧迫の中でも、朝鮮は金正恩同志の賢明な領導の下で、経済建設と核武力建設の並進路線を確固として握り締め、人民に富裕で文明的な生活条件を用意するために積極的に闘争した結果、人民生活の向上において大きな成果を成し遂げている。

本稿では、最近朝鮮人民が軽工業と農業、水産業を発展させ、人民生活の向上において成し遂げている主要成果について要約して言及する。

1. 軽工業部門

朝鮮に対する米国と西側の経済制裁と封鎖は、人民生活の向上において重要な一役を引き受けている軽工業の発展に最も大きい難関を作っている。米国と西側は先端技術製品だけでなく、日常生活用品、そして食料品と子供たちのおもちゃまでも

制裁項目に入れ、朝鮮に対する制裁の強度を高めている。しかし、朝鮮では自力自強の旗じるしを高く掲げ、人民生活の向上のための軽工業の発展にずっと大きな力を入れていて、最近多くの成果を成し遂げている。

朝鮮の党と政府が行っている軽工業戦略は、原料、資材の国産化を基本とし、すべての軽工業工場を早い期間内で近代化させ、新製品の開発と質の向上に力を入れ、世界的水準の多様な軽工業製品をさらに多く生産することである。

朝鮮ではまず原料、資材とともに設備の国産化を中核的な問題ととらえ、自らの力と技術で軽工業の工場を近代化させ、生産を活性化させている。

平壤穀産工場では国内で広く栽培されているトウモロコシを工業的な方法で加工し、色々な糖分を抽出する現代的な生産工程を自らの力と技術で確立した。工場ではトウモロコシ加工工程、水飴生産工程、玉糖¹生産工程、菓子生産工程、飴玉生産工程をはじめとするすべての生産工程の自動化、ストリームライン化、無菌化、無塵化を高い水準で実現し、厳格な品質検査体系まで確立したことによって、労力を極力節約しながらも生産能率を飛躍的に高め、製品の衛生安全性を徹底的に保障できるようになった。同工場では原料投入から製品包装まで至るすべての生産工程を自らの力と技術で設計・製作することによって、国産化の比重を95%以上保障する成果を成し遂げた（『労働新聞』2016.6.16）。

平壤子供食料品工場でも1年分に該当する原材料を十分に貯蔵することができる数千トン収容能力の大豆サイロを建設し、生産を正常化することによって市内の

子供たちに豆乳を毎日正常に供給している（『労働新聞』2015.11.14）。

平城ゴム紐工場では今まで輸入していたポリエステルポリウレタン糸を国内で生産されるポリエステルレーヨン糸を利用して生産することによって、靴下生産の国産化比重を高めることができる確固たる展望を切り開いた。現在、平壤靴下工場では平城ゴム紐工場で生産される完全に国産化されたポリエステルポリウレタン糸を使って良質の靴下を生産している（『労働新聞』2016.11.6）。

朝鮮ではまた、日増しに高まる人民の需要に即し、消費品の多様化、多様化を実現し、世界的な競争力を持つブランド商品、ブランド製品をたくさん生産することに大きな力を入れている。

金正淑平壤紡織工場では短い期間内にカバン用の衣生産基地を立派に設け、学生たちの心理的特性に合わせて色々な色合いと模様のカバン生地を生産して、元山革靴工場では格好良くて質の良い革靴をたくさん生産し、人民の好評を受けている。金正恩同志は最近だけでも元山革靴工場を3回も現地指導しながら、工場を新世紀のニーズに合わせ、現代的に改建・拡張するためにあらゆる措置を取り、靴生産の多様化、多様化、多色化、軽量化を実現することに関する課題を明示した。これにより、工場では技術者、技能工の力を発動させ、短い期間内に「梅峰山」商標の良質で多様な革靴を大量に生産している。

朝鮮の食料加工工業で先進企業として有名な金カップ体育人総合食料工場では、高級菓子類と肉加工製品の種類を増やし続けると共に、先進技術を取り入れ、製品包装の文化性を高めている。

¹トウモロコシでん粉から製造した異性化糖。

現在この工場で生産している数百種の食料製品は、その質が高く衛生安全性が徹底的に担保されていることで国内はもちろん国際市場でも大人気であるとのことである。

これだけではなく、朝鮮で生産されている「大同江ビール」と「平壤焼酎」、開城高麗人参を原料にした化粧品と医薬品、「平壤味噌玉麴コチュジャン」のような消費品は朝鮮人民だけではなく外国人の中でも好評を受けている名商品、名製品である。

朝鮮では人民生活をバランス良く、速く発展させるために地方工業発展にも大きな力を入れ、多くの成果を成し遂げている。

地方工業といえば、主に各地方にありふれている原料源泉を利用し、地方人民の需要を保障することを基本とする工業という。偉大なる首領金正日同志はかなり以前、山に近いところでは山をうまく利用し、海に隣接している所では海をうまく利用するようにと指摘した。この言葉はすべての地方において自分の地方の実情と特性に合うように経済を発展させ、人民生活を向上させなければならないという意味である。こんにち朝鮮では、地方工業を大々的に発展させることが、人民生活を向上させるうえで重要な政策的問題となっている。

平安南道と咸鏡北道の地方産業工場では自らの原料基地をしっかりと築きあげ、すべての原料源泉と予備を最大限に動員利用し、生産を正常化すると共に設備と生産工程の国産化、近代化を実現し、消費品生産を引き続き拡大している。こちらの地方産業工場で生産された大衆消費品はその質において中央の軽工業工場製品に劣らず、住民たちの好評を受けている。

朝鮮ではすべての地方で、自ら生産した豆乳を管内の託児所、幼稚園と小学校に毎日正常に供給しており、自分の地方を代表する特産品生産を基本としながら、商品展示会と経験の交換を通じて大衆消費品の種類を伸ばし、その質を引き続き改善している。

朝鮮では端川地区の鉱山、企業所の生産を正常化し、人民生活の向上において効果を出すようにすることに特別な関心を向けている。

現在の端川地区の鉱山、企業所では埋蔵量が豊富な鉛、亜鉛、マグネサイトをはじめとする鉱物の生産を正常化させると共に黒鉛、玉石など10種類余りに達する有用鉱物をさらに多く探索し、生産を拡大するための実質的な対策を取っている（『労働新聞』2017. 2.5）。

2. 農業部門

農業は人々の食べる問題、食糧問題と直結しており、人民生活の向上において重要な地位を占めている。金正日同志はすでにかなり以前に「米はすなわち社会主義である」という名言を語った。この言葉の意味は、米がなければ社会主義を建設することも、守ることもできないということである。

米国が朝鮮にわずか1キロの食糧も入って行けないように徹底的に遮断し、封鎖している条件の下で、朝鮮が食糧を自給自足しようとするのであれば、農業生産を決定的かつ画期的に伸ばさなければならない。

したがって、朝鮮では農業部門を経済強国の建設と人民生活の向上のための主攻戦線、社会主義守護戦の前哨線に立たせ、ここに力を集中している。最近、朝鮮の農業部門では、科学農作業の熱風が吹き、一町歩²当たり10トンの生産量を出すための多収穫運動が広範囲に広がり、穀物生産と畜産業、果樹業の発展で大きな成果が出されている。

まず地域別土壌特性と自然気候の条件に合った新しい優良品種をさらに多く育種し、導入するための事業で大きな前進を遂げている。2016年に朝鮮では密集型多収穫品種トウモロコシの種子である「平玉-9」号を新しく育種し、生産に導入することに成功した。この新しい品種のトウモロコシは背が低くて風雨によく耐えるだけではなく、収穫が高く、他のトウモロコシ品種に比べ生育期日が短いために、

穀物対穀物を主とする二毛作を行うのにとっても適合した品種であるという。今後朝鮮ではほとんどの農場でこのトウモロコシの種子を大々的に植える方法で二毛作をし、穀物収穫高を高めようとしている（『労働新聞』2016.9.13）。朝鮮では一町歩当たり10トン以上の産出を成すことができる新しい稲種子も育種するのに成功した。最近多くの農場でこの稲種子を植え、一町歩当たり平均10トン以上、最高17トンを産出したという（『労働新聞』2016年11月3日）。

朝鮮ではまた、先進営農方法と技術を取り入れ、不利な自然気候の条件の中でも穀物生産量を毎年伸ばしている。毎年日照りが持続している条件の中で、朝鮮ではすべての農場で水節約型農法を取り入れ、農作物の生育と産出に必要な水消費量を最小限に減らしながらも、高く安全な産出を行っている。朝鮮で指折り数えられる穀倉地帯として有名な黄海南道の白川郡と平安北道の竜川郡の農場ではこの水節約型農法を取り入れ、毎年数百トン以上の穀物を増収している。

黄海南道の沙里院市峯谷協同農場では、伝統的な5月の田植えから大きい苗による6月の田植えに大胆に転換することによって、毎年、数百立方メートルの水と一町歩当たり数百キログラムの窒素肥料、数十トンの稲種子だけではなく多くの営農物資を節約しながらも、一町歩当たり10トン以上の産出がある（『労働新聞』2015.8.19）。

朝鮮では、耕地面積が制限されている条件に合わせて、すべての農場で二毛作の面積を次第に増やすと同時に、大きい苗による疎植栽培、トウモロコシ二列集約栽培による二重栽培方法をはじめとする先進的な営農方法を積極的に取り入れ、収穫を増やすようにしている（『労働新聞』2016.6.17）。そして、有機農法を奨励し、環状循環生産体系を確立することによって穀物生産量を持続的に高めている。

朝鮮ではまた、農業に現代的で能率的な農機械を積極的に導入することによって穀物生産量を伸ばしている。金星トラクター工場では新しく開発した80馬力トラク

² 約1ヘクタール（正確には0.9917ヘクタール）

ターを系列生産する段階に入った。この新型のトラクターは、田畑で耕作を25～35cm程度で行いながら一回の通過で3～5種類の農作業を同時に進める連結農機をしっかりと牽引することができ、燃料消費が少なく、生産原価も他の型のトラクターに比べて低く、農場の需要が非常に高い（『労働新聞』2016.5.27）。各地の農機工場でも田植機と土壌管理機、播種および肥培管理機、収穫および脱穀機、畜産飼料加工機、小型揚水機などの色々な用途の農機を生産して農場に送ることによって機械利用率を上げている。特に農業省の農機研究所で新たに研究開発した軽量化されたトウモロコシ播種機と、南浦市江西郡の工場が開発した背負式微粒子噴霧器は、簡便で利用価値が高く、農民から好評を受けている（『労働新聞』2016.5.14）。

農業部門では穀物生産量を伸ばすことと共に畜産業と果樹業を発展させ、野菜農業をしっかりと営み、人民生活の向上に積極的に貢献している。

畜産部門では家畜種子と飼料問題を解決し、飼育管理を科学的に行い、獣医防疫対策を徹底的に立て、畜産物生産を持続的に伸ばしている。これと共に草食家畜の飼育を群衆的運動として繰り広げ、農場で共同畜産と個人畜産を共に発展させることに力を入れている。

最近朝鮮の江原道洗浦地区では、全国的な関心と支援の中で、雑草だけが生い茂った大平原に、たった数年間で数万町歩の芝生を持つ大規模の畜産基地が立派に建設されることによって、人民により多くの肉と乳製品、卵を供給できる確固たる土台が築かれた。世界的水準の果物生産基地へと立派に育った大同江果樹総合農場と高山果樹総合農場では果樹の集約化、科学化を確固として実現し、毎年一町歩当たり50トン以上の果物を生産することによって、人民に新鮮な果物を年中途切れることなく供給している（『労働新聞』2016.10.21）。

朝鮮を近い将来に、キノコ生産量において世界的な上位を占めるキノコの国にすることは、朝鮮労働党の確固たる決心である。したがって、朝鮮では生産能力が高く現代的な平壤キノコ工場をキノコ

栽培工業化の標準単位にし、全国の至る所にキノコ生産基地を大々的に設け、生産を活性化することによって、それらが実質的に人民生活の中で効果を出すようにしている。朝鮮では工場、企業所、協同農場ではもちろん家庭でまでキノコを育てるようにしている。

朝鮮では将泉野菜専門協同農場のような野菜専門農場での野菜生産量を伸ばすと共に、各地で温室野菜生産を積極的に奨励し、人民に時期別に色々な野菜を生産供給している。

このように朝鮮では農業部門に対する国家的な投資と支援を強化し、農民の愛国的熱意を積極的に呼び起こし、不利な自然気候の条件と営農物資の不足の中でも毎年穀物生産を伸ばして、人民に多くの肉と卵、果物と野菜、キノコを正常に供給している。

3. 水産部門

最近朝鮮の人民生活の向上で特に注目すべき成果は、水産部門で漁獲量が急激に増え、人民の食生活が多様化そして豊かになっていることである。

三面が海で囲まれている朝鮮において、水産業は長い発展歴史と伝統を持っている。しかし、1990年代の中盤期から外部の経済封鎖による燃料不足と水産部門に残っている在来式漁獲法、古く、立ち後れている設備と漁具により、漁獲量は毎年良くなかった。したがって、金正恩同志は水産部門を決定的に振興させ、人民生活の向上に積極的に貢献できるようにする決心の下で、水産部門に対する集中的な現地指導を行った。金正恩同志の関心と指導の下で、朝鮮の水産部門では何年か前から「黄金の海」の歴史が始まり、毎年大漁を成し遂げている。

水産部門ではまず現代的で能率の高い漁船をさらに多く建造し、漁具を近代化させることにまず力を入れ、成果を成し遂げている。

最近造船所だけではなく水産事業所では「紅葉」号と「黄金の海」系列の万能漁船を自ら生産し、漁業に積極的に利用している。特に咸鏡南道の新浦遠洋水産連合企業所で新たに建造した380馬力

の「黄金の海-2」号は速度が速く、電気電動による操舵とトロール巻揚装置が導入され、漁労作業の近代化が非常に高い水準で実現された万能漁船として漁業において大きな役割を担っているという（『労働新聞』2016.5.26）。新浦漁船設計研究所でも、従来の漁船に比べ航海速度と引網速度は1.2倍、漁獲の生産性は1.5倍も高く新しい80馬力小型万能漁船の設計を完成し、生産に導入した（『労働新聞』2015.12.1.）。

朝鮮では漁船を多機能化することに加え、現代的で能力が非常に高い総合的な漁具生産基地を新しく建設し、漁業と沿岸養殖に切実に必要な質の良い網と縄、いかだを大量に生産し、水産事業所に送っている。

水産部門では漁船と漁具を近代化させることに合わせ、科学水産の熱風を起し、魚生産量を急激に高めている。金策水産事業所をはじめとする多くの水産単位で先端科学技術に基づき、気象予報、衛星情報による漁場探索、海上指揮体系、魚加工体系と設備および電力監視体系、船修理体系などが一つに結合された現代的な統合的な生産体系を構築した。結果、漁船が遠海に出て行っても、科学的な漁労戦を繰り広げるのに必要な色々な資料をリアルタイムで受け取り、それに基づいて積極的な機動戦、埋伏戦、追撃戦を繰り広げ、例年にない大漁を実現している。科学水産と集団的競争の熱風の中で、平安南道の漢川水産事業所をはじめとする色々な水産事業所が漁業の実績において最高生産年度の水準を突破する成果を上げている（『労働新聞』2016.5.8）。

養魚と養殖においても多くの成果を成している。

水産部門では労力節約型、水節約型養魚方法を積極的に取り入れ、海面養殖、網生養魚を広く展開し、沿岸養殖面積を増やし、養殖方法を改善し、生産量を伸ばしている。朝鮮で養魚部門の手本、標準となる工場となった平壤ナマズ工場では固定および移動式自動給餌機、ナマズ収穫機などの現代的な設備と総合飼料加工工場、発酵飼料加工工場など飼料および飼料添加剤生産工程を自ら

の労力と技術で立ち上げ、生産量を2倍も高める成果をなしとげた（『労働新聞』2015.12.22）。黄海南道の三泉ナマズ工場でも、膨大な近代化工事を自らの技術で短い期間に完工し、年間3000トン余のナマズを正常に生産している（『労働新聞』2017.2.21）。最近朝鮮の養魚部門では実践を通じて、その優越性が確証された移動式網生簀養魚を広く奨励している。そして平壤の真中を流れている大同江と普通江はもちろん清川江、将子江をはじめとする国のすべての川に移動式網生簀養魚場が次々と展開され、新しい風景となっており、これらで生産した淡水魚が人民生活を実質的に豊かにしている（『労働新聞』2015.12.16）。

養殖部門でも展望をもって水産資源保護増殖を行うと同時に、養殖場面積を伸ばし、先進的な養殖方法を積極的に取り入れ、昆布、ワカメ、ウニ、ナマコ、貝など多くの水産物を収穫している。

黄海南道龍淵郡の九味浦沿岸養殖事業所をはじめとする多くの養殖単位では収穫高が高い優良品種の昆布を養殖して一町歩当たり平均百数十トンの収穫があり、おいしくて健康に有益な昆布を全国各地に送っている（『労働新聞』2015.4.17）。このように最近朝鮮では人民生活と直接関連した軽工業、農業、水産業部門で飛躍的な成果を成し遂げるこ

とによって、米国と西側の経済制裁と封鎖の中でも人民に安定して幸せな生活を保障している。これは党と国家が人民生活に全面的な責任を持ち、助け、人民の利益と便宜を最優先、絶対視する朝鮮の社会主義だけで成すことができる当然な結実である。

朝鮮では今後も人民生活の向上を千万種類の国事の中でも最大の国事として掲げ、自強力をより一層強化し、軽工業と農業、水産業を画期的に発展させることによって、人民生活の向上でより大きな前進を成し遂げるであろう。

[朝鮮語原稿を ERINA にて翻訳]